

自衛官募集相談員会の定期総会を支援

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、5月19日（金）、川崎市高津区のホテルKSPで開催された川崎北自衛官募集相談員会の「平成29年度定期総会」を支援した。

同総会では、会長以下27名の会員のほか、国会議員をはじめとする顧問の各議員が出席する中、昨年度の事業報告及び今年度の事業予定などの審議が行われ、最後に所長自ら28年度の募集成果を報告し、募集相談員会の日頃からのご支援ご尽力に対する感謝の気持ちを伝えた。

また、総会後に行われた懇親会では、昨今の我が国を取り巻く情勢や国防について、会員同士で熱心に語り合う場面もあり、会員相互の更なる親睦を深められたようであった。

溝の口募集案内所は、「今後も、募集広報活動における支援協力体制の強化に向け、同会との連携を密に図っていく」としている。

自衛隊家族会定期総会を支援

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、5月28日（日）、川崎市高津区の公民館において、自衛隊家族会川崎北地区会の「平成29年度定期総会」を支援した。

同総会では、今年度の事業予定や予算案などの審議が行われ、最後に所長から家族会員に対し、縁故募集に関するご理解とご協力をお願いした。

総会に続いて、同地本本部長（松田一等海佐）が「艦船勤務のマネジメント」と題して講話を行い、松田本部長の熱意とユーモアあふれる講話は会員の心を引き寄せていた。特に、艦船における「しつけ」についての説明では、会員たちは首を縦に振って、共感する場面も見られた。

講話後は懇親会も行われ、新会員の方に対し、同会役員から温かい労いの言葉や、ご子息、ご息女に対する心配などを払拭させる激励の言葉が聞かれた。

溝の口募集案内所は、「今後も、協力団体に対する支援を通じて、防衛基盤の育成に努めていきたい」としている。



松田本部長による講話の様子

市ヶ尾募集相談員会の部隊研修を支援

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、5月26日（金）、海上自衛隊厚木航空基地において、募集相談員18名の部隊研修を支援した。

当日は、まず第4航空群の広報資料館でジオラマを用いた基地の概要や海外で活動中の海賊対処活動についての説明を受け、相談員たちは真剣に聞き入っていた。その後、航空機格納庫に移動してP-1哨戒機を間近で見学し、相談員たちは、「P-1を現在何機保有しているのですか」「全長はどれ位あるのですか」など積極的に質問していた。

午後は、第4整備補給隊に移動し、整備中の哨戒ヘリコプターSH-60KやC-130R輸送機を見学した。タイヤメンテなど担当が細分化された現場を目の当たりにし、「整備するにも、細かく担当が分かれていますね」「女性の隊員が多いのが印象的だった」との感想が聞かれた。

研修の最後は、厚木連航隊にて救難消防車に乗り込み、放水銃による放水のデモンストラーションを体験した。

研修終了後、相談員からは、「海上自衛隊の仕事が理解できる有意義な一日だった」「初めて知ることも多く、今回の研修に参加して良かった」など嬉しい言葉を聞くことができた。

市ヶ尾募集案内所は、「海上自衛隊の仕事を理解して頂く良い機会となった。今後も、協力団体の自衛隊に対する理解促進に努めていきたい」としている。



広報資料館で熱心に説明を聞く相談員



救難消防車前で記念撮影をする相談員